



学校教育目標

- ◎自ら学び自ら考える子 (かしこく)
- ◎こころゆたかな子 (こころゆたかに)
- ◎明るくたくましい子 (たくましく)

**【めざす学校像】「元氣・やる気・本氣・根氣・勇氣・和氣」(6つの氣)をもって
自ら学び、互いに成長し合う児童を育む学校 【枝訓】「流汗精進」
～3合い(愛)「助け合い・励まし合い・認め合い」の仲間づくりをとおして～
笑顔・感動・思い出いっぱい学校へ**



自宅近所の白木蓮には、産毛の生えたかわいい白い蕾が光っています。17日間の冬休み中に大きな事故や怪我等もなく無事に過ごし、子どもたちが元氣よく3学期を始めることができたのは、保護者・地域の皆様のお陰であると深く感謝申し上げます。インフルエンザの流行で油断できない状況が続いていますが、改めて2024年(令和6年)の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。子どもたち一人一人が感染症に負けず、夢と希望を抱きながら輝かしい未来に向かって成長し、前進していける1年となりますよう心より祈っています。

今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」です。「甲」は、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然的躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。

この2つの組み合わせである甲辰は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。全ての東っ子がさらに新たな芽をいばい出して、ぐんぐん伸びていく年にできたらと期待を膨らませています。

東っ子が志や目標を高く抱き、自ら真剣に考え、心豊かに優しく、明るくたくましく健やかに成長できるよう、全教職員が「チーム大利根東小」として新年も、誠意をもって丁寧な指導・支援してまいります。昨年に引き続き、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動推進のために温かいご理解とご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

親の気持ちのよい「本物の挨拶」が子どもの挨拶を変える！

～心を込めた本物の挨拶は家族を変える。家族が変われば、学校・地域も変わる！～

校長 小林 秀行

本校の子どもたちに身に付けさせたい喫緊の課題は「地域の方に大きな声で挨拶しよう」です。日頃より、子どもたちが元気に明るい挨拶をする子になるよう指導していますが、残念ながら本校の子どもたちは登下校で自分から進んでの挨拶がまだまだです。私が毎朝の登校指導で通学路を走りながら巡回していると、「登下校で子どもたちに挨拶しても、挨拶が返ってこなくて、大変がっかりした」「学校で子どもたちが挨拶するようにもっと指導してください」等、保護者・地域の皆様から厳しいご意見をいただいています。子どもたちの挨拶に限らず、大きな声で「はいっ」と返事することに課題があります。

学校で一番挨拶が明るく元気がいいのが1年生ですが、段々と取っかたしが出てくるのか、高学年になるにつれて大きな声で自分から挨拶する子が少なくなっています。挨拶の語源は「一挨拶(いちあい いちさつ)」という禅宗の問答に由来した言葉です。「挨拶」には心を開いて近づく、「挨拶」も同じように迫る、近づくという意味があります。つまり、挨拶には「心を開いて相手に近づく」という意味があります。人間関係を大事にする茶道において「一挨拶」は、精進の基本とされています。素直に挨拶をすることは人間本来のあるべき姿であって、人間社会の秩序の基盤であるとの教えもあります。私は単なる挨拶でなく、「名前を呼んで挨拶」ができる子に育てたいと思い、本校では「武田先生、おはようございます」「茂木先生、こんにちは」というように先生方の名前をつけて挨拶するように全体で指導しています。なぜなら、名前を呼ぶことで相手意識をさらに高め、相手を思いやる心も高めたいからです。「3メートル手前の挨拶」をするようにも呼びかけています。詩の暗唱の際に校長室に入ります時は「〇年〇組の〇〇です。詩の暗唱にきました」「失礼しました」と、ほとんどの子はしっかりと挨拶をします。どの子も私を意識できているからです。校内でも教職員に対して、自ら挨拶する子が以前より増えてきました。

しかし、登下校になると保護者・地域の皆様への相手意識が低いことや恥ずかしさ、人見知り等が原因なのか、自分から元気に挨拶ができていないのが現状です。ぜひ、保護者の皆様のご家族やご近所の方、来客等にお子さんの前で挨拶のお手本を見せてください。親が挨拶をしなければ、子どもはしません。逆に親がいつでも、どこでも、だれにでも気持ちのよい挨拶をしていれば、必ず子どもは挨拶をするようになります。「お父さん、おはようございます」「お母さん、行ってきます」という心の通った挨拶ができていご家庭のお子さんは将来、幸せになれると思います。家庭内で挨拶ができていれば、家族をお互いがちゃんと認め合っている証拠なので、問題が起きても大丈夫です。自分から笑顔で相手の目を見て大きな声で挨拶をすれば、必ず相手も認めてくれて周りの見る目が変わります。特に朝一番の挨拶は、した方もされた方も気分がよくなります。学校・家庭・地域の三者が団結して、粘り強く、子どもたちの「自ら元氣よく挨拶する力」を高めていきましょう



1	月	元旦 冬季休業日
2	火	冬季休業日
3	水	冬季休業日
4	木	冬季休業日
5	金	冬季休業日
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	第3学期始業式 一斉下校 □座引落確認日
10	水	給食開始日 5時間授業 書きぞめ競書会
11	木	委員会活動⑨ 身体測定1～3年 なかよし
12	金	身体測定4～6年
13	土	
14	日	
15	月	定時退勤推奨ウィーク
16	火	講話集会・児童集会
17	水	
18	木	クラブ活動⑨
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	教育相談日
23	火	
24	水	
25	木	新入児保護者説明会
26	金	学校保健委員会 3・4年おなか元氣教室
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	大利根中新入生保護者説明会 (6年12時下校)

○校内持久走記録会

12月7日(木)に校内持久走記録会を行いました。低学年3分間、中学年4分間、高学年5分間という時間の中で自分がどれだけ長い距離を走ることができるか挑戦しました。

自分が立てた目標を達成するために、みんな最後まであきらめずに走っていました。また、一生懸命走る友だちに、大きな声で心のこもった声援を送る姿も見られました。

記録をとるのは高学年の仕事でした。計測を間違えてしまったら、その子のがんばりが無駄になってしまいます。担当になった子から目を離さずに記録し、残り1分になると大きな声で「あとちょっとだよ」「がんばれ」と励ます姿に、高学年らしさを感じることができました。これからも体力づくりに取り組み、来年はさらに記録が伸ばせるとよいですね。



1月の生活目標	学校では	学校での感染予防対策をしっかり指導します。
手洗い・うがいを しっかりしよう	家庭では	各ご家族で感染症の予防について見届けをお願いします。
	地域では	さわやかなあいさつができるよう声かけをお願いします。(年間目標)